令和７年度

第１回　愛媛県社会教育委員会議　資料

令和７年４月24日（木）　13：30～
県庁第一別館10階　教育委員室

愛媛県教育委員会

議題１　令和７年度生涯学習関係事業について〔資料１〕

【まなび推進課】

○「生涯学習推進計画」について

○ 生涯学習センター、総合科学博物館、歴史文化博物館、美術館の運営状況について

○「ふるさと愛媛学」普及推進事業について

議題２　令和７年度社会教育関係事業について〔資料２〕

【社会教育課】

○ 仮設図書館の運営状況について

○「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」について

○「家庭教育支援推進事業」について

○「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」について

○「社会教育主事講習・社会教育研修」について

○「地域教育プロデューサー配置支援事業」について

○「小・中学生のふるさと学習作品展」事業について

○「えひめ学校・地域教育サポーター」について

○「協働で支えるヤングボランティア推進事業」について

○「えひめっ子多世代交流推進事業」について

議題３　令和７年度青少年教育団体振興事業費補助金について〔資料３〕

【社会教育課】

【資料１】

議題１

令和７年度生涯学習関係事業について

「愛媛県生涯学習推進計画（第五次）」について

１　第五次計画について

(1)　計画期間

令和３年度から概ね５年間

※　策定は令和３年３月

(2)　計画の構成

基本目標「誰もが生涯学ぶ、愛顔あふれる“学び舎えひめ”の創造」

└施策の方向性

○ 自立・自律して学ぶ

○ 連携・協働して学ぶ

○ 学びの成果をふるさとづくりに

└ 推進施策(21)

└ 推進指標(43)

(3)　推進指標(43)の進捗状況把握（令和７年３月現在）

○　推進施策ごとに設定した推進指標について、その目標の達成に向けて進捗状況を把握。(事業所管課)

現状が前年度数値（計画策定時）を上回っている場合 …	↗	14 項目
現状が概ね前年度（計画策定時）どおりの場合 …	→	１項目
現状が前年度数値（計画策定時）を下回っている場合 …	↘	５項目
現状値未把握（R7.3 時点） …	-	23 項目

※　指標 37 については、事業見直しのため廃止

※　指標 42 については、R2～R5 の間、対象となる大会未実施(コロナ影響)

○　推進指標の進捗（別紙参照）

・　推進指標 40 は、所管課（保健福祉課）の事業変更により推進指標変更

・　推進指標 40 の※２の数値は、旧推進指標「災害ボランティア研修会」の令和元～３年度の数値

「愛媛県生涯学習推進計画（第五次）」概要

1．基本的な考え方

【国】第3期教育振興基本計画（H30.6）
第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（R2.9）
障害者の生涯学習の推進方策について（H31.3）
【県】愛媛の未来づくりプラン～第3期アクションプログラム～（R2.3改訂）
愛媛県教育振興に関する大綱（H31.3）

第四次計画　H28年度～R2年度

【基本目標】
誰もが主役で輝き続ける
“学び舎えひめ”の創造

○施策体系を引き継ぐ
・基本目標→施策の方向性→推進施策→推進指標

○人生100年時代を豊かに生きるために
○社会の変化に対応するために
○「持続可能な開発目標」（SDGs）の理念
○障がい者の生涯学習の推進

県民アンケート調査（R2.9～10）の結果

○県民のニーズを踏まえて
・多様な学び、少子高齢化、防災　など

第五次計画　R3年度～（概ね５年で計画見直し）

【基本目標】

誰もが生涯学ぶ、愛顔あふれる“学び舎えひめ”の創造

○「誰もが生涯学ぶ」とは、子どもから高齢者まで障がいのある人を含む誰もが生涯を通じて学ぶことができるように学習機会の充実を図ること
○「愛顔あふれる」とは、県民の一人一人が、「ふるさと」に愛着を持ち、愛顔で生涯学習を推進すること
○「“学び舎えひめ”の創造」とは、県民の一人一人が、自立・自律、連携・協働して学ぶとともに、その学びの成果がふるさとづくりにつながっていく姿をスローガンとしてまとめたもの

【３つの施策の方向性】

①自立・自律して学ぶ　②連携・協働して学ぶ　③学びの成果をふるさとづくりに

【21の推進施策】（8つの新規）

①人権教育・啓発の推進
②環境教育・学習の充実
③社会的・職業的自立に向けた教育と社会参加の推進
④学び続け、学び直すための情報や場の提供
⑤高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり
⑥質の高い文化・芸術に親しむ機会の充実
⑦誰もが共に学ぶことができる事業の推進
⑧地域における防災力の向上

【43の推進指標】（21の新規）

①県美術館の年間利用者数、総合科学博物館・歴史文化博物館の入館者数　②高校生ヤングボランティアスタッフ登録者数
③人権問題に関する研修・講座等の受講者数　④環境マイスター派遣回数　⑤環境教育・学習参加者数
⑥5日間の職場体験学習に取り組んだ公立中学校（県立中等教育学校前期課程を含む）の生徒の活動に関する充実度
⑦公立学校において、個別の教育支援計画の作成を必要とする幼児児童生徒のうち、実際に作成されている幼児児童生徒の割合
⑧ねんりんピック参加活動人数　⑨県民総合文化祭の参加者数　⑩地域学校協働活動取組校数
⑪「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」参加者満足度　⑫愛媛ボランティアネット会員登録数
⑬中学生以上が参加するえひめ未来塾の対象校数　⑭NPO法人数（認定NPO法人を含む）
⑮障がい者が参加して共に学ぶことができる生涯学習事業を実施した市町数　⑯社会教育士数　⑰防災士の数
⑱自主防災組織の訓練実施率　⑲災害ボランティア研修会参加者数　⑳県障がい者スポーツ大会の参加者数
㉑障がい者芸術文化祭（アート作品展）への出展数

2．ポイント

(1) 社会の変化や県民のニーズに即した計画

国や県の計画のほか、県民アンケート調査の結果などを基に、社会の持続的発展のための学びの推進や多様な人材の協働、障がい者を含む子どもから高齢者まで生涯を通じた学習機会の充実を図り、県民一人一人がふるさとに愛着を持ち、愛顔で生涯学習の推進することを目指す。

(2) 幅広い推進指標の設定

現計画の推進指標(28)から、防災・減災、住民同士の交流、障がい者の生涯学習推進など、関係部局が連携した、より幅広い分野に関する推進指標(43)へと変更する。

愛媛県生涯学習推進計画（第五次）【令和6年度末進捗状況表】

施策の方向性（３）			No	推進指標（43）	計画策定時現状値	令和2年度末現状値	令和3年度末現状値	令和4年度末現状値	令和5年度末現状値	令和6年度末現状値	令和7年度末現状値	目標（令和７年度）	前年度比						改善策等	所管課
No	推進施策（21）												→R２	→R３	→R４	→R５	→R６	→R７		
Ⅰ 自立・自律して学ぶ																				
1	生涯学習に関する意識の向上	①	県民（大人）の生涯学習への参加割合	26.0%（令和2年度）	―	―	―	―	―		30%	―	―	―	―	―			まなび推進課
		②	今後、生涯学習へ参加したいと思う県民（大人）の割合	72.1%（令和2年度）	―	―	―	―	―		75%	―	―	―	―	―			まなび推進課
2	生涯学習関連施設の整備と利用促進	3	県民一人当たりの生涯学習関連施設の利用回数（科博、歴博、美術館を除く）	3.9回（令和元年度）	2.6回	2.2回	3.1回	3.8回	―（R8.2把握）		4.4回	↘	↘	―	↗	―			まなび推進課 社会教育課
		4	県美術館の年間利用者数、総合科学博物館・歴史文化博物館の入館者数	696千人（平成28～令和元年度の平均値）	322千人	421千人	598千人	705千人	620千人（2月末時点）		726千人（令和5年度）	↘	↗	↗	↗	―			まなび推進課
		5	県内公立図書館の県民一人当たりの年間貸出冊数	4.8冊（令和元年度）	4.2冊	3.9冊	4.2冊	4.2冊	令和7年度（R7.5把握）		4.7冊	↘	↘	↗	→	―			社会教育課
3	青少年の社会参画のための学習機会の充実	6	高校生ヤングボランティアスタッフ登録者数	792人（令和2年度）	―	1,334人	1,002人	1,184人	951人		1,245人	―	↗	↘	↗	↘		学校への周知徹底を図る。	社会教育課
4	人権教育・啓発の推進	7	人権・同和教育研究大会への参加者数	2,295人（令和元年度）	1,264人	1,588人	1,191人	1,717人	1,722人		2,400人	↘	↗	↘	↗	↗		関係機関との連携強化	人権教育課
		8	人権問題に関する研修・講座等の受講者数	9,750人（平成29～令和元年度の平均値）	5,021人	1,562人	1,741人	3,807人	6,707人		12,000人以上	↘	↘	↗	↗	↗			人権対策課
5	環境教育・学習の充実	9	環境マイスター派遣回数	56回（令和元年度）	33回	4回	2回	36回	令和7年度（R7.4把握）		現状値より増加（令和6年度）	↘	↘	↘	↗	―			環境・ゼロカーボン推進課
		10	環境教育・学習参加者数	16,581人（令和元年度）	9,818人	7,653人	12,315人	12,225人	令和7年度（R7.4把握）		現状値より増加（令和6年度）	↘	↘	↗	→	―			環境・ゼロカーボン推進課
6	社会的・職業的自立に向けた教育と社会参加の推進	11	５日間の職場体験学習に取り組んだ公立中学校（県立中等教育学校前期課程を含む）の生徒の活動に関する充実度	94.7%（令和元年度）	93.6%	97.2%	95.8%	96.3%	96.8%		97.3%	↘	↗	↘	↗	↗			義務教育課
		12	公立学校において、個別の教育支援計画の作成を必要とする幼児児童生徒のうち、実際に作成されている幼児児童生徒の割合	92.6%（令和元年度）	97.3%	98.1%	98.3%	99.3%	令和7年度（R7.4把握）		100%	↗	↗	↗	↗	―			特別支援教育課
7	学び続け、学び直すための情報や場の提供	13	学び舎えひめ悠々大学の対象講座登録数	1,423件（令和元年度）	1,370件	1,482件	1,602件	1,643件	1,631件（2月末時点）		1,600件	↘	↗	↗	↗	―			まなび推進課
8	高齢者がいきいきと暮らせる社会づくり	14	ねんりんピック参加活動人数	8,950人（令和元年度）	9,485人	9,213人	9,555人	9,620人	令和7年度（R7.6把握）		10,000人（令和5年度）	↗	↘	↗	↗	―			長寿介護課
9	質の高い文化・芸術に親しむ機会の充実	15	県民総合文化祭への参加者数	77,143人（令和元年度）	34,101人	50,125人	56,738人	60,103人	55,979人		85,000人	↘	↗	↗	↗	↘		事業の廃止・休演等によるもの。	文化振興課
10	生涯スポーツ等を通じた県民同士の学び	16	総合型地域スポーツクラブ会員数	4,960人（令和元年度）	5,167人	5,103人	3,962人	4,041人	3,984人		4,300人（令和9年度）	→	→	↘	↗	→		えひめ広域スポーツセンターと連携し、クラブの周知等に努める。	地域スポーツ課
Ⅱ 連携・協働して学ぶ																				
11	学校・家庭・地域の連携による教育の推進	17	地域学校協働活動取組校数	144校（令和2年度）	―	174校	180校	193校	197校		198校	―	↗	↗	↗	↗			社会教育課
		18	地域学校協働活動や家庭教育支援等に携わった地域住民の人数	292,542人（令和元年度）	159,177人	212,547人	197,793人	216,395人	令和7年度（R7.4把握）		251,100人	↘	↗	↘	↗	―			社会教育課
		19	「愛顔でつなぐ”学校・家庭・地域”の集い」の参加者満足度	93.5%（令和元年度）	97.0%	97.0%	99.0%	98.5%	99.0%		100%	↗	→	↗	↘	↗			社会教育課
12	ボランティアに対する意識の向上	⑳	県民のボランティア活動への参加割合	45.4%（令和2年度）	―	―	―	―	―		60.0%	―	―	―	―	―			まなび推進課
		㉑	今後、ボランティア活動へ参加したいと思う県民の割合	67.1%（令和2年度）	―	―	―	―	―		75.0%	―	―	―	―	―			まなび推進課
		22	愛媛ボランティアネット会員登録数	4,698会員（令和元年度）	4,843会員	4,954会員	5,099会員	5,218会員	令和7年度（R7.4把握）		5,100会員	↗	↗	↗	↗	―			県民生活課
13	多様な主体による次世代育成支援事業の充実	23	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の設置数	53教室（令和2年度）	―	53教室	52教室	53教室	令和7年度（R7.4把握）		59教室	―	→	↘	↗	―			社会教育課
		24	中学生以上が参加するえひめ未来塾の対象校数	21校（令和2年度）	―	21校	22校	22校	令和7年度（R7.5把握）		26校	―	→	↗	→	―			社会教育課
14	地域や民間等との協働による社会貢献・教育活動の提供	25	えひめ学校・地域教育サポーター登録企業・団体数	201企業・団体（令和2年度）	―	209企業・団体	222企業・団体	226企業・団体	225企業・団体		230企業・団体	―	↗	↗	↗	↘		ホームページの改善等、企業・団体への周知を図る。	社会教育課
		26	えひめ家庭教育サポート企業連携事業協定締結企業数	80社（令和元年度）	86社	92社	97社	99社	100社		110社	↗	↗	↗	↗	↗		該当企業への事業の周知を図り、協定締結につなげる。	社会教育課
		27	NPO法人数	478法人（令和元年度）	492法人	501法人	507法人	509法人	令和7年度（R7.4把握）		500法人	↗	↗	↗	↗	―			県民生活課
15	生涯学習情報の提供と学習相談の充実	28	生涯学習情報システムの講座等登録件数	2,912件（令和元年度）	2,670件	2,671件	2,708件	2,804件	2,735件（2月末時点）		3,000件	↘	→	↗	↗	―			まなび推進課
Ⅲ 学びの成果をふるさとづくりに																				
16	誰もが共に学ぶことができる事業の推進	29	障がい者が参加して共に学ぶことのできる生涯学習事業を実施した市町数	3/20市町（令和2年度）	―	4/20市町	4/20市町	4/20市町	5/20市町		8/20市町	―	↗	→	→	↗			まなび推進課
17	社会教育活動に対する意識の向上	㉚	県民の地域活動、公民館活動等への参加割合	38.5%（令和2年度）	―	―	―	―	―		50.0%	―	―	―	―	―			まなび推進課
		㉛	今後、地域活動、公民館活動等へ参加したいと思う県民の割合	62.0%（令和2年度）	―	―	―	―	―		70.0%	―	―	―	―	―			まなび推進課
18	学習成果が循環する体制の充実	32	学びの成果循環のための新たな取組（事業）設立数	3取組（事業）（令和元年度）	3取組（事業）	5取組（事業）	6取組（事業）	8取組（事業）	9取組（事業）		7取組（事業）	→	↗	↗	↗	↗			まなび推進課 社会教育課
		33	生涯学習の講師として登録している者の数	805人（令和元年度）	810人	820人	821人	821人	836人（2月末時点）		820人	↗	↗	↗	→	↗			まなび推進課
		34	「ふるさと愛媛学」の成果を生かした学校等への出前授業・出前講座開催市町数	11/20市町（令和元年度）	10/20市町	10/20市町	9/20市町	8/20市町	12/20市町		14/20市町	↘	→	↘	↘	↗		新規の申込みを増やすべく、広報活動を積極的に行う。	まなび推進課
19	地域を結び、協働を支える指導者・人材の育成	35	市町における社会教育主事の配置数	18/20市町（令和2年度）	―	17/20市町	18/20市町	18/20市町	17/20市町		20/20市町	―	↘	↗	→	↘		未配置町全ての要因が社会教育主事有資格者の異動によるものであるため、次年度の社会教育主事講習の積極的な受講を促す。	社会教育課
		36	社会教育士数	54人（令和2年度）	―	70人	85人	108人	157人		120人	―	↗	↗	↗	↗			社会教育課
		37	地域づくりリーダー数	295人（令和元年度）	301人（令和2年度）	314人	325人	339人	―（廃止）	―（廃止）	415人	→	↗	↗	↗	―			地域政策課
20	地域における防災力の向上	38	防災士の数	14,625人（令和元年度）	16,063人	17,859人	20,018人	23,009人	25,683人		22,700人（令和5年度）	↗	↗	↗	↗	↗			防災危機管理課
		39	自主防災組織の訓練実施率	53.9%（令和元年度）	35.70%	37.8%	43.3%	51.3%	令和7年度（R7.4把握）		100.0%	↘	↗	↗	↗	―			防災危機管理課
		40	※１　指標変更 被災者支援全般の研修会参加者数 （旧指標：災害ボランティア研修会参加者数）	※2 867人（令和元年度）	※2 935人	※2 1,093人	1,244人	1,503人	令和7年度（R7.5把握）		1,300人	↗	↗	→	↗	―			保健福祉課
21	学習成果の発表・体験・交流	41	県主催の生涯学習に関する体験型イベント参加者数	13,000人（令和元年度）	1980人	2,780人	3,782人	8,681人（夢まつり7,491人 フェスタ1,190人）	10,290人（夢まつり8,724人 フェスタ1,566人）		20,000人	↘	↗	↗	↗	↗			まなび推進課
		42	県障がい者のスポーツ大会の参加者数	1,885人（令和元年度）	―（大会中止）	―（大会中止）	―（大会中止）	―（大会中止）	981人		2,000人（令和9年度）	―	―	―	―	↘		各市町、施設等に参加について働き掛け、大会を周知し参加者を増やしていく。	地域スポーツ課
		43	障がい者芸術文化祭（アート作品展）への出展数	274点（令和元年度）	397点	357点	348点	358点	372点		360点（令和8年度）	↗	↘	→	↗	↗		多岐にわたって広報を行う。	障がい福祉課

※「県民の生涯学習に関する参加状況や意見等に係る推進指標（県民アンケートで調査する推進指標）」①②⑳㉑㉚㉛

【指標の推移】

「前年度もしくは計画策定時を上回った指標」：１４項目、「概ね同じ指標」：１項目、「下回った指標」：５項目、現状値未把握（R６年度末時点）：２３項目、No.37は事業見直しのため廃止

※１　推進指標40は、所管課（保健福祉課）の事業変更により推進指標変更

※２　旧推進指標40「災害ボランティア研修会」の令和元～３年度の数値

「愛媛県生涯学習推進計画（第六次）」について

第六次計画について

(1) 骨子（案）

① 計画期間

令和８年度から概ね５年間

※社会情勢や生涯学習を取り巻く環境や課題を踏まえて見直す

② 基本目標

（案）誰もが学び続けることができ、幸せや生きがいを感じられる“学び舎えひめ”の創造

③ 基本理念（施策の方向性）

（案）Ⅰ　自発的・主体的に継続して学ぶ

Ⅱ　多様な担い手と連携・協働して学ぶ

Ⅲ　学びを通じたつながりづくり・地域づくり

④ 推進施策

基本理念ごとに概ね５～７つの推進施策を設定

⑤ 推進指標

推進施策ごとに概ね１～３つの推進指標を設定

※より幅広い視点を踏まえる。

⑥ 計画の特徴

国の第４期教育振興基本計画（R５．６）や、愛媛県総合計画～未来につなぐ　愛媛チャレンジプラン～（R５．６）、愛媛県教育振興に関する大綱（R５．３）などの内容を踏まえる。

(2) 今後のスケジュール（予定）

令和７年

４月　骨子案・スケジュールを第１回社会教育委員会議で審議

６月～10 月　素案の作成

12 月　素案を臨時社会教育委員会議で審議

12 月　パブリック・コメントの実施

令和８年

～２月　計画（案）の作成

２月　計画（案）を第２回社会教育委員会議で審議

３月　教育委員会で議決、新計画策定

（参考）これまでの計画

① 「愛媛県生涯学習プラン」（H3.11～終期定めず）
策定主体：愛媛県生涯学習推進プラン策定委員会

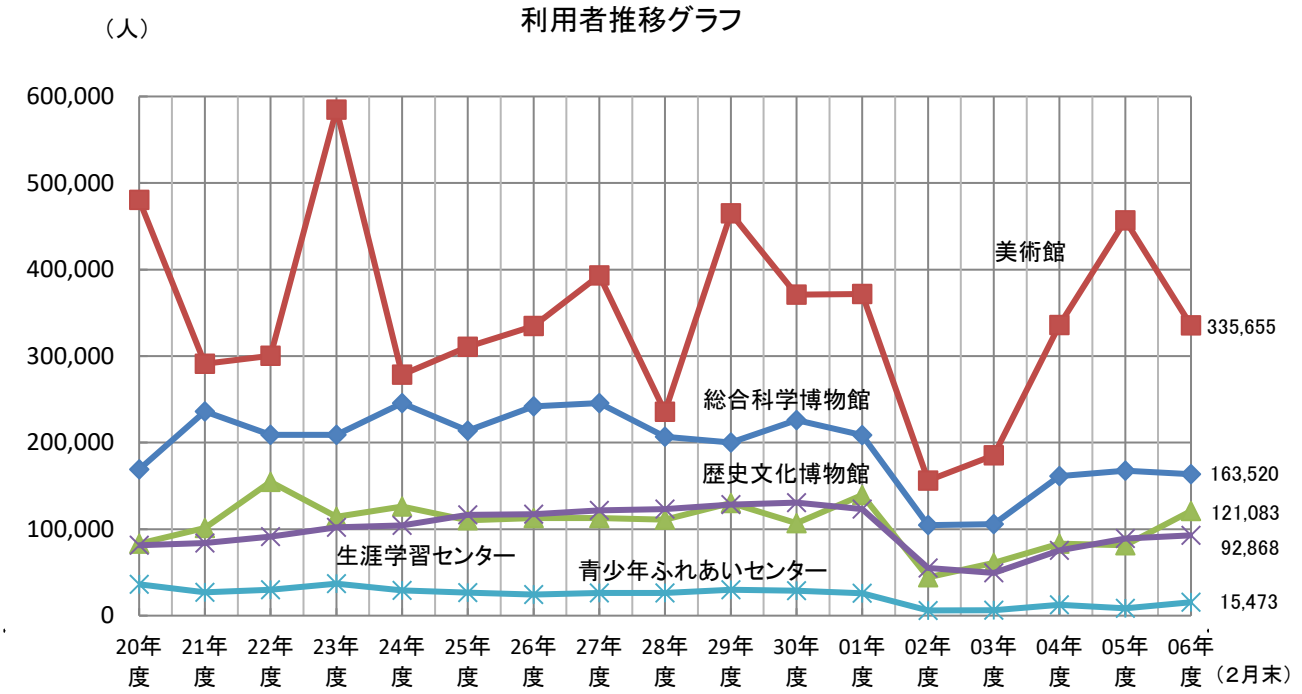
② 「愛媛県生涯学習推進計画」（H15.3～23.3）
策定主体：愛媛県・愛媛県教育委員会

③ 「愛媛県生涯学習推進計画」（H23.3～28.3）
策定主体：愛媛県・愛媛県教育委員会

④ 「愛媛県生涯学習推進計画」（H28.3～概ね５年間）
策定主体：愛媛県・愛媛県教育委員会

⑤ 「愛媛県生涯学習推進計画」（R3.3～概ね５年間）
策定主体：愛媛県・愛媛県教育委員会

まなび推進課所管施設の利用状況（H20～R6）



【総合科学博物館】
・コロナ前の5年間（H27年度～R元年度）の利用者数は、20万人～24万人で推移し、この間の平均利用者数は、約21万8千人で、直営時代の約16万9千人から約1.3倍となっている。
・R6年度（2月末）は、R元年度（2月末）比で21.7%減、R2年度（2月末）比で56.3%増、R3年度（2月末）比で54.7%増、R4年度（2月末）比で1.3%増、R5年度（2月末）比で2.4%減。（指定管理者：伊予鉄総合企画㈱）

【歴史文化博物館】
・コロナ前の5年間（H27年度～R元年度）の利用者数は、11万人～13万人で推移し、この間の平均利用者数は、約12万人で、直営時代の約8万3千人から約1.4倍となっている。
・R6年度（2月末）は、R元年度（2月末）比で13.1%減、R2年度（2月末）比で173.4%増、R3年度（2月末）比で98.7%増、R4年度（2月末）比で45.7%増、R5年度（2月末）比で48.5%増。（指定管理者：伊予鉄総合企画㈱）

【美術館】
・コロナ前の5年間（H27年度～R元年度）の利用者数は、23万人～46万人で推移し、この間の平均利用者数は、約37万人となっている。
・R6年度（2月末）は、R元年度（2月末）比で9.7%減、R2年度（2月末）比で114.9%増、R3年度（2月末）比で81.3%増、R4年度（2月末）比で0.1%減、R5年度（2月末）比で26.5%減。

【生涯学習センター】
・コロナ前の5年間（H27年度～R元年度）の利用者数は、12万人～13万人で推移し、この間の平均利用者数は、約12万6千人で、直営時代の約8万1千人から約1.6倍となっている。
・R6年度（2月末）は、R元年度（2月末）比で24.6%減、R2年度（2月末）比で68.6%増、R3年度（2月末）比で88.0%増、R4年度（2月末）比で23.0%増、R5年度（2月末）4.2%増。（指定管理者：㈱ﾚｽﾊﾟｽｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ）

【青少年ふれあいセンター】
・コロナ前の5年間（H27年度～R元年度）の利用者数は、2万6千人～3万人で推移し、この間の平均利用者数は、約2万7千人で、直営時代の約3万6千人から約24%減少。（少子化等の影響）
・R6年度（2月末）は、R元年度（2月末）比で39.9%減、R2年度（2月末）比で155.2%増、R3年度（2月末）比で144.5%増、R4年度（2月末）比で21.8%増、R5年度（2月末）比で82.7%増。（指定管理者：㈱ﾚｽﾊﾟｽｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ）

令和７年度 総合科学博物館 特別展等の開催について

１　特別展・企画展等

テーマ	開催時期	概要
特別展 「まんぷく！食品サンプル展」	4月19日（土） ～6月22日（日）	Japanese Pop Cultureのひとつとして、海外からも注目を集めている「食品サンプル」。誕生以来、少しずつ進化し、その製法や役割、並べ方など驚くほど変化しています。そんな「食品サンプル」の魅力や進化について、見るだけでなく、触れて、撮って、楽しみながら、学べる展示を展開します。
特別展 「ニホンカワウソ」	7月12日（土） ～9月23日（火）	愛媛県の県獣・ニホンカワウソは、1975年に捕獲されたのを最後に、県内での確実な情報が途絶えています。県内最後の確認から50年の節目を機に、当館収蔵のニホンカワウソ関連資料を一挙に展示し、動物としてのカワウソや私たちとの関わり、生物の絶滅について理解を深めます。
企画展 「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」	10月18日（土） ～令和8年1月12日（月）	ハッブル宇宙望遠鏡の後継機であるジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が撮影した写真を中心に、宇宙望遠鏡がとらえた深宇宙の姿を紹介します。最初の画像が公開されてから3年で蓄積された、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡による息をのむほど精細な宇宙の姿をお楽しみください。
企画展 「ホログラム展」		3次元画像を記録再生するホログラフィー技術と、その技術で撮影した立体写真ホログラムを紹介します。飛び出したり動いたりして見えるホログラムのほか、お札やカード、折り紙など身近に利用されているホログラムも展示します。ホログラムの不思議な感覚をお楽しみ下さい。
企画展 「ゲノム展」	2月14日（土） ～4月5日（日）	ゲノムという言葉を聞く機会が近年増えてきました。ゲノムとは、ある生物の持つ遺伝情報全てのことです。ゲノムを解析すると、どのようなことが分かるのでしょうか。本展示では、ゲノムの概要や解析技術の進歩の歴史、ゲノム解析を用いた研究事例について楽しく紹介します。

２　その他

（1）中高生のための第１１回かはく科学研究プレゼンテーション大会（８月３日（日））

中高生が集まるプレゼンテーション大会を科博で開催し、生徒同士の質疑応答による発表生徒のプレゼンテーションスキルのアップ、サイエンスリテラシーの向上を目指します。科学技術や環境、自然史、生命、産業に関することをテーマとし、ポスター部門とステージ部門の２部門で、各部門とも発表内容等を審査し表彰します。

（2）教員のための博物館の日（８月２１日（木））

学習指導要領に沿った展示室の利用方法や学習用プラネタリウム、授業に役立つ科学実験や学習用貸出キットなどを紹介する教員の皆様を対象とした１日限定の体験講座を開催します。科博ならではの実験道具や実物資料を使ってさまざまなプログラムが体験でき、参加者が提供プログラムを自由に選択できる研修会です。

令和７年度 歴史文化博物館 特別展等の開催について

１　特別展・企画展等

テーマ	開催時期	概要
誕生50周年ねずみくんのチョッキ展 なかえよしを・上野紀子想像力のおくりもの	４月19日（土） ～６月29日（日）	1974年、赤いチョッキを着たちいさな主人公、ねずみくんが登場する絵本『ねずみくんのチョッキ』が刊行されました。作家・なかえよしを、画家・上野紀子夫妻の共同作業によって生まれた絵本は、鉛筆で描かれたモノクロの絵と最小限の文章、余白を生かした美しい構図で注目を集めます。本展では、最新作を含むシリーズ全作品が集結するほか、他の作品も含めて原画やスケッチなど約200点を展示します。
渡辺おさむスイーツアート かわいいお菓子のミュージアム	７月12日（土） ～８月31日	本物そっくりに作られたスイーツアートでデコレーションする現代美術作家・渡辺おさむ。思わず食べたくなるようなホイップクリームやマカロン、キャンディなどカラフルなスイーツを用いて、動物や建造物の模型にデコレーションを施し、かわいく気品あふれる作品を創り出しています。本展では、初公開となる愛媛をイメージしたオリジナル作品などが登場します。
ヨシタケシンスケ展　かもしれない	９月20日（土） ～11月24日（日）	絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』（2013年）以降、幅広い世代をひきつけているヨシタケシンスケ。初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約400点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。
伊予の経塚名品展 ～堂ヶ谷経塚と松渓経塚～	２月14日（土） ～４月５日（日）	経典を容器に納め埋めた経塚は、経典をはるか未来まで残すためにつくられたタイムカプセルです。平安時代末期より極楽往生や追善供養のため盛んに営まれるようになり、鎌倉時代にかけて流行しました。本展では、保存修理を行った県内最古の紀年銘をもつ堂ヶ谷経塚出土品を初公開します。さらに初の里帰りとなる松渓経塚出土品や陶磁器としても価値の高い石手寺経塚出土品など、県内各地の経塚出土の名品や埋納された仏教遺物も紹介。経典を埋めるという行為や込められた祈りに注目し、経塚の魅力に迫ります。

２　その他

⑴教員のための博物館の日（８月中旬）

小・中・高等学校教員に歴史文化博物館の学習資源を公開することにより、教員の博物館の活動に対する興味・関心を高め、学校と博物館との主体的なつながりを作り出すことにより博学連携を深め、持って児童生徒の学習指導の深化を図ります。

⑵内海清美作品「密●空と海」展示

全国に誇れる地域資源である「四国遍路文化」を展示で発信するため、平成24年9月に歴博の常設展で和紙彫塑家　内海清美作品「密●空と海」をオープンしました。前半章・後半章の展示を経て、平成30年９月、空海の生涯のハイライトを紹介するダイジェスト版に更新しました。

令和７年度 企画展

区分	展覧会名（仮称）	内　　容	開催意義
1	アルフォンス・ミュシャ展 【開催期間】 2025 年４月 12 日(土) ～６月 22 日(日) 62 日間 【想定観覧者数】22,940 人	19 世紀末～20 世紀初頭のヨーロッパで花開いた芸術様式「アール・ヌーヴォー」の代表的作家、アルフォンス・ミュシャ（1860－1939）。植物文様で彩られた優美な女性像は、今なお多くの人々を魅了する。本展では、ミュシャ作品の世界的コレクターとして知られる尾形寿行氏のコレクションからポスター、装飾パネルをはじめ、デザイン集、商品パッケージなどを展示し、その生涯に迫る。 併せて、当館コレクションの中核作家である、本県出身の杉浦非水（1876－1965）は、ミュシャに感化を受けて図案家の道を歩み始めたことから、非水作品とのコラボ展示も行い、日本におけるミュシャ（アール・ヌーヴォー）受容の一端を考察するとともに、非水顕彰の重要な機会としたい。	日本で特に人気の高いミュシャの国内屈指のコレクションがまとめて鑑賞できる貴重な機会となる。また、郷土の重要作家であり、近年再評価著しい杉浦非水とのコラボ展示により、さらに幅広い来場者への興味関心を喚起させる。
2	谷川俊太郎　絵本★百貨展 【開催期間】 2025 年７月５日（土） ～９月１日（月）51 日間 【想定観覧者数】13,413 人	1960 年代から現在に至るまで、絵描きや写真家とともに 200 冊に及ぶ絵本を手がけてきた詩人・谷川俊太郎。絵本のコンセプトやテーマは、ことばあそびや、世界のありようを認識する手がかり、生きることの面白さや大変さ、尊さ、死や戦争など多岐にわたる。 本展ではバラエティ豊かな約 20 冊の絵本を紹介。アートディレクター、映像作家、建築家ら多才なクリエイターたちによる、原画、朗読、アニメーション、インスタレーションを通して谷川俊太郎の絵本の世界を楽しむことができる。手元でページをめくる絵本の世界から飛び出した、子どもから大人まで誰もが楽しめる展覧会。	日本を代表する詩人である谷川の言葉と多様な絵画・写真作品を一緒に体験できる参加型の展覧会（出品作家の一人は収蔵作家）。教科書掲載作家でもある身近な谷川作品を、夏季に開催することで、親子での鑑賞機会を提供できる。
3	旅する光の切り絵展 【開催期間】 2025 年 11 月１日（土） ～12 月 21 日（日）44 日間 【想定観覧者数】23,760 人	切り絵のぬくもりと美しさに“光”と“デジタル”を融合した独自の「光の切り絵」として、幻想的な空間を作りあげる作家・酒井敦美氏による体験型アート展。酒井氏は、個展開催のほか、全国各地の公共スペースなどで作品発表の実績を重ねており、愛媛県内でも今治・タオル美術館（2004 年）や、内子町町並み保存地区（2013～2016 年）で個展を開催している。 大自然の風景が様々に変化する臨場感あふれる壮大な作品「地球スケッチ」、可愛らしく動く切り絵にストーリーと音楽を加えた映像作品「うごく絵本」、切り絵を万華鏡のように投影することで幻想的な世界を作り出す「音彩万華鏡」など、さまざまな手法で鑑賞者の心を揺さぶる。愛媛を題材にした新作も展示予定。	家族連れを中心に幅広い層の来館を見込むことができる。また、会場内撮影可能であることから、ＳＮＳなどでの高い拡散力が期待でき、集客につなげる。

「ふるさと愛媛学」普及推進事業について

１　目的

県内の様々な生活や文化、産業等を住民や市町と県が連携・協働しながら調べ、「ふるさとらしさ」や「愛媛らしさ」を発見・再確認する活動をとおして、それらの貴重な地域資源を特色ある地域づくりに生かすとともに、県民一人一人の学ぶ意欲を高め、ふるさとを誇りに思い郷土を愛する心を育み、地域文化を次世代に継承していくための地域学を、県内各地で広く展開することを目指しています。

２　内容

(1) 調査研究普及活動

ア　「ふるさと愛媛学」調査研究（７年度連携市町：八幡浜市、久万高原町）

住民や市町と県が連携して調査研究を行い、地域の特色あるくらしや文化、産業等に関する報告書を作成します。

（公民館での聞き取り調査）

（令和６年度調査報告書[松山市③、松野町]）

イ　出前講座・出前授業

これまでの「ふるさと愛媛学」調査研究の成果をもとに、地域や団体、学校等からの要望により、講座・授業を実施します。

（松山商業高校）

（八幡浜市立江戸岡小学校）

ウ　愛媛大学等との連携事業

教員等を対象とした「地域（ふるさと）学習」に関する研修会を実施します。

(2) 「えひめの記憶」編さん活動

ア　データベース「えひめの記憶」

愛媛県史や調査研究報告書等をデジタル化し、データベース「えひめの記憶」として愛媛県生涯学習センターホームページで公開します。

【資料２】

議題２

令和７年度社会教育関係事業について

県 立 図 書 館 の 運 営 状 況 に つ い て

1　県立図書館の耐震改修等工事と仮設図書館の設置について

利用者の安全・安心の確保と施設の機能向上を図るため、耐震改修工事とともに、トイレ洋式化等の利用環境の改善対策及び外壁改修等の老朽化対策に取り組んでいる。

また、工事期間中は完全閉館しており、仮設図書館（アイテムえひめ内）を設置し、できる限りのサービスの維持に努めている。（事業期間：令和５年度～８年度）

2　利用状況

	開館日数	入館者数（人）※	1日当り入館者数	学習室利用者数（人）	貸出冊数（冊）		
					一般	児童書	計
４年度	280	175,694	627	98,829	68,065	75,808	143,873
<対前年度比>		〈113.2%〉		〈116.3%〉	〈98.4%〉	〈98.7%〉	〈98.5%〉
５年度	289	185,724	643	112,467	67,319	68,225	135,544
<対前年度比>		〈105.7%〉		〈113.8%〉	〈98.9%〉	〈90.0%〉	〈94.2%〉
６年度	224	118,056	527	68,586	41,561	39,782	81,343
<対前年度比>		〈63.6%〉		〈61.0%〉	〈61.7%〉	〈58.3%〉	〈60.0%〉

※入館者数は、1F子ども読書室、3F一般図書室、4Fえひめ資料室利用者の合計

※耐震改修等工事のため、６年11月～７年１月は休館。２月から仮設図書館を開館

3　令和６年度取組内容

(1) 資料の収集整理及び利用者サービス

事　　業　　名
○ 図書等資料の収集、整理、保存、閲覧・貸出等
○ レファレンス（調査・相談）
○ インターネット・商用データベース閲覧サービス
○ ビジネス、医療・健康、子育て情報支援サービス（課題解決支援）
○ 遠隔地返却サービス
○ 愛媛県行政資料等電子化事業（デジタルアーカイブの公開含む）
○ 電子書籍サービス

(2) 読書活動の推進及び図書館支援

事　　業　　名
○ 公共図書館等への支援、協力
① 相互貸借サービス（相互貸借支援サイトの運営等）
② 研修への職員（講師）派遣
③ 協力図書による支援（一般･児童･読書会･学習支援用(まなぼん)図書の一括貸出）
④ 図書館未設置町支援
○ 子ども読書活動推進事業
① ちいさなひととたのしむ絵本事業(おはなし会開催、推薦リスト発行)
② 読書ボランティア等スキルアップ事業（スキルアップ講座、ビギナーズ講座の実施）
③ おでかけ県立図書館事業 （図書館未設置町への出張貸出、学校等におけるブックトークの開催等）
④ 学校図書館整備支援事業

(3) 普及啓発

事　　業　　名	期間等
○ 児童図書、一般図書、郷土資料展示	通年
○ こどもの読書週間（4/23-5/12）、読書週間（10/27-11/9）関連 （書庫見学、図書展示、四国がんセンターとの共催イベント等）	年２回
○ 職場体験受入れ	随時
○ 古文書解読講座	年４回
○ 広報紙の発行、県立図書館ＨＰの運営等	通年

(4) その他

研　究　会　等	年月日	会　場	参加者
○ 県読書推進大会	R6.5.31	にぎたつ会館	92名
○ 県図書館講習会	R6.8.7	県立図書館（ｵﾝﾗｲﾝ併用）	67名
○ 図書館職員研修会	R6.11.1	愛媛大学図書館	38名

令和７年度地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業構造

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題に複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支え、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。

子どもの郷土愛醸成や保護者の子育て支援、地域の教育力向上、学校が抱える課題の複雑化・困難化等の社会的課題の解決のため、学校と地域の連携・協働体制づくりを推進

県事業

地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会

○地域と学校の連携・協働体制や地域学校協働活動の効果的な取組の在り方・成果等についての検証・評価
○地域の教育力向上や学校が抱える複雑化・困難化する課題の解決につながる協働活動の在り方についての検討等

社会総がかりの学校教育支援推進事業

○地域の教育資源の有効活用
○学校及び地域の教育活動に対して支援を行う企業・団体との連携
○えひめ学校・地域教育サポーター企業・団体の登録

活動別研修事業

○地域学校協働活動とコミュニティ・スクール(CS)の一体的推進
○放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会
○放課後児童対策指導者研修会

家庭教育支援推進事業

○家庭教育支援者養成講座
○家庭教育支援推進会議
○家庭教育支援出前講座

普及啓発事業

○愛顔でつなぐ”学校・家庭・地域”の集い(兼全体研修)　○事例集の作成(Web公開)　○CSアドバイザーの派遣

市町補助事業

・国から直接補助を受ける松山市を除く

運営委員会

○各地域の実情に応じた活動内容や運営方法、人材配置、他部局との連携等の検討
○学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、統括的な教育活動推進員等

補助要件

○CS導入又はCS導入計画がある
○地域学校協働活動推進員の配置

PTA　愛護班　公民館　自治会　婦人会　老人会　NPO　企業　各種団体

統括的な地域学校協働活動推進員・統括コーディネーター等

地域学校協働本部＜学校と地域住民等が目標・活動方針・取組内容等を共有＞

学校運営協議会との一体的な推進

地域学校協働活動
【13市町167箇所】
(1市町2箇所増)

地域学校協働活動推進員
地域コーディネーター
協働活動リーダー
協働活動サポーター
ボランティア

・郷土学習、学びによるまちづくり等
・体験・ボランティア活動支援
・部活動指導
・学校環境整備
・登下校の見守り
・補導時の対応　など

重点化 ※「学校における働き方改革」を踏まえた活動
重点化 ※地域における学習支援・体験活動

えひめ未来塾
【6市町73箇所】
(5箇所増)

地域コーディネーター
学習支援員
協働活動サポーター

・放課後等の学習機会提供・支援
・学習習慣の育成
・学習支援や悩み等への対応
・学力強化シートの活用(義務教育課作成・配布)
・教員OBの活用

放課後子ども教室
【13市町106教室】
(2教室増)

地域コーディネーター
協働活動リーダー
協働活動サポーター

・学習支援や文化・スポーツ・自然体験活動支援
・異年齢集団や地域の方との交流活動
・児童クラブと一体・連携した取組　など

土曜教育活動
【7市町19箇所】
(1市1箇所減)

地域コーディネーター
協働活動リーダー
協働活動サポーター

・休日ならではの豊かな体験や学びの実施プロや専門家の教育
・支援や継続的 なプログラム提供

家庭教育支援
【8市町5チーム】
(1市減)

地域コーディネーター
家庭教育支援リーダー
家庭教育支援員

・保護者等の相談や支援
・保護者等への学習機会の提供
・親子参加行事支援
・支援が届きにくい家庭への支援の充実　など

幅広い地域住民の参画・協力・支援等

地域ぐるみで地域の教育活動を実施し、全ての子どもの健全育成を支援

※実施市町及び箇所数(R7.3調査時点)。中核市である松山市を除く。

令和7年度　地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業　事業概要

1　趣旨

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題に複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支え、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。

2　事業の概要

(1)　県事業

①　「地域と学校の連携･協働体制構築推進協議会」の設置

ア　主な役割

○　地域と学校の連携・協働体制や地域学校協働活動の効果的な取組の在り方・成果等についての検証・評価

○　地域の教育力向上や学校が抱える複雑化・困難化する課題の解決につながる協働活動の在り方についての検討等

イ　人数　　10 名　　（学識経験者、福祉関係者、学校教育関係者、社会教育関係者等）

ウ　開催回数　　2 回

【年間２回の協議会の内容】
第１回　事業計画の説明、事例報告、教育支援に係る課題についての協議
第２回　事業実績の検討、事業評価

②　活動別研修事業

ア　活動別研修会の開催

○　目的　各活動それぞれの関係者の資質向上、情報交換等を図る。

○　開催回数（３回）

・「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進研修会
・放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会
・放課後児童対策指導者研修会

○　内容　講義、事例研究、ワークショップ等

③　普及啓発事業

ア　「愛顔でつなぐ“学校･家庭･地域”の集い」(全体研修会を兼ねる)

○　目的

幼稚園から高校までの全ての子どもの保護者、教員、社会教育関係者に加えて、福祉や企業等の関係者が集い、「子どもを守り育てる」という共通課題をテーマに講演や事例研究、学校・地域教育サポーター制度の紹介等を通して、地域連携による教育支援の在り方について協議・研修する。

○　期日　令和７年８月７日（木）

○　場所　愛媛県生涯学習センター

○　内容　講演、分科会、学校・地域教育サポーター制度の紹介等

イ　事例集の作成・Web公開・データ提供

○　内容　実施市町の優れた取組事例の紹介

○　Web公開　　教育委員会ホームページ上で公開

ウ　CSアドバイザーの派遣

○　目的

地域学校協働活動とコミュニティ・スクール（ＣＳ）の一体的な取組推進を図るため、ＣＳの設置を進めようとしている市町に対し、ＣＳアドバイザーを派遣し、説明会や研修会を実施する。

○　期日　令和７年５月～２月

○　場所　県内５か所

○　内容　研修会、説明会等

④　家庭教育支援推進事業

すべての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材の養成や家庭教育支援チームを中心とした連携の仕組みづくり、身近な地域における情報提供や相談対応等の支援活動を実施する。

ア　家庭教育支援者養成講座

保護者同士が気軽に子育ての不安や悩みを話し合うことができる環境づくりに向け、家庭教育支援を担う地域人材の発掘・養成のための講座を年３回実施する。（東、中、南予で各１回）

イ　家庭教育支援推進会議

家庭教育支援チームの代表者、学識経験者、保健福祉関係者等を中心に家庭教育支援をめぐる県全体の動向と課題についての意見交換等

ウ　家庭教育支援出前講座

「トクわく」及び家庭教育支援者養成講座の普及啓発及び家庭教育支援チーム設置に係る情報提供等、市町の要望に応じた講座を実施し、家庭教育新体制構築の推進を図る。

⑤　**社会総がかりの学校教育支援推進事業**

○　目的

出前授業等を通して、学校等の教育活動に対して支援・助言ができる企業等について、「えひめ学校・地域教育サポーター」として県教育委員会のホームページに掲載し、地域の教育資源を適切に活用できる教育支援体制づくりの推進を図る。

○　内容　えひめ学校・地域教育サポーターの普及啓発
新規登録企業の募集、審査、登録

(2) 市町補助事業

各市町は運営委員会を設置し、統括的な地域学校協働活動推進員等の配置、活動内容・運営方法の検討、支援活動の実施等に取り組むとともに、各学校区に地域学校協働本部を設置し、地域住民と学校とが子どもの健全育成に係る目標や取組等を共有して総合的な教育支援活動を効果的に実施する。特に、学校運営協議会との一体的な推進を図るよう努める。

①　**活動内容・運営方法の検討**

各地域の実情に応じた取組内容や事業の運営方法の検討等を行う。

②　**人材の配置**

人材	内容
統括的な地域学校協働活動推進員及び地域学校協働活動推進員、統括コーディネーター、地域コーディネーター	・統括的な地域学校協働活動推進員等は、地域と学校をつなぐ総合的な企画調整のほか、学校や学校関係者、地域の団体等との連絡調整、地域の協力者の確保・登録・配置、地域の実情に応じた定期的・継続的かつ多様な活動プログラムの企画等を行う。
協働活動リーダー	・学校の教育活動の支援や放課後、土曜日等における学習支援・体験・交流活動等のプログラムを中心的に実施する。
学習支援員	・特別な知識や経験等を活用し、協働活動支援員では行うことのできない小・中・高校生等への学習支援を実施する。
協働活動サポーター	・放課後、土曜日等を含むプログラムの実施のサポートや子どもたちの安全を管理する。
特別支援・共生社会サポーター	・特別な支援を必要とする子どもたちに対する放課後等の学習支援・体験活動を行う場合、地域の実情に応じて、特別な配慮を必要とする子どもたちの活動をサポートする。
家庭教育支援員	・家庭教育に関する学習プログラム等の中心的な企画・実施や保護者への相談対応等を行う。

③　**各活動の実施**

活動	内容
地域学校協働活動	**地域住民が学校と連携・協働し、教育活動を支援するとともに、地域住民の自己実現を図り、地域を活性化する。** ・地域の伝統・文化等の継承、郷土・環境学習、キャリア教育、防災・減災等の学習支援 ・まちづくり・まちおこし等に関わる学習支援 ・ボランティア活動、地域清掃・地域行事への参画 ・部活動補助、校内環境整備活動、図書整理等 ・安全支援活動（登下校指導、行事等の安全補助、見守り活動等） ・補導時の対応など
えひめ未来塾	**全ての子どもを対象に地域の参画を得て、子どもが主体的に学習に取り組むことのできる場（環境）を設けるとともに、子どもの悩みや相談に応じて学習を支援する。** ・放課後等の学習機会の提供と支援 ・学習習慣の育成 ・宿題等の学習支援・学力強化シートの活用（義務教育課作成・配布） ・分からない問題等への支援
放課後子ども教室	**全ての子どもを対象に、安全安心な子どもの居場所を設け、学習や体験活動等を提供する。** ・放課後等の学習支援 ・自然体験活動支援 ・スポーツ、伝統文化活動支援 「放課後児童対策パッケージ2025」（令和6年12月27日）を踏まえた放課後児童クラブと校内交流型の教室整備の推進
土曜教育活動	**全ての子どもを対象に、企業等の人材を活用した特色・魅力のある教育プログラムを提供する。** ・地域の伝統芸能体験学習支援 ・環境課題学習支援 ・郷土学習支援 ・教科学習の充実・発展 ・スポーツ教室等の支援
家庭教育支援	**保護者等への学習機会や情報の提供、相談体制の構築等を行い、家庭教育支援の基盤を整備する。** ・家庭教育支援チームによる保護者等への相談や支援 ・保護者等への学習機会の提供（「愛顔の子育てトーク＆わーく応援プログラム集（トクわく）」を活用した学習会や座談会の開催等） ・親子参加行事への支援

家庭教育支援推進事業

１　事業方針

各市町や社会教育関係団体等への「愛顔の子育てトーク＆わーく応援プログラム集（通称：トクわく）」の普及啓発等が進み、家庭教育支援の機運の醸成が高まりつつある今、保健福祉部局との連携、更なる人材養成やその活躍の場を支援する取組が、ますます重要となってくる。

そこで、令和７年度は、「家庭教育支援体制の構築」に向け、家庭教育支援チーム代表者等による検討会を設置するほか、福祉部局や社会教育関係団体、ＮＰＯ法人との連携強化を図りながら、家庭教育支援チームや家庭教育講座等をはじめとする家庭教育支援を普及させるための取組を加速化してまいりたい。

２　令和７年度の取組

（１）家庭教育支援出前講座（継続）

従来の「トクわく」の普及啓発に加え、家庭教育支援チームの結成や家庭教育講座の開設に関心のある団体等からの要望に応じた講座をアウトリーチで実施

○ 保健福祉部局、社会教育関係団体、ＮＰＯ法人等への普及啓発

○ 市町間における取組格差（家庭教育支援に対する理解）への対応

（講座例）① 「トクわく」の活用について（プログラム体験、活用事例の紹介）

② これからの家庭教育支援（家庭教育支援のモデル提案、支援チームの登録方法や設置準備

（２）家庭教育支援者養成講座（継続）

「トクわく」の普及啓発及び家庭教育支援に関する情報提供等

○ 保健福祉部局と連携

各市町担当者や県内の地域子育て支援拠点及び児童館、子ども家庭センターの職員、民生委員、主任児童委員、母子保健推進員等への周知（出前講座を含む）を徹底

○ 受講者への伴走支援

動画資料やメールマガジン（仮）による情報提供等

（３）家庭教育支援推進会議（新規）

家庭教育支援チームの代表者、学識経験者、保健福祉関係者等を中心に、家庭教育支援をめぐる県全体の動向と課題についての意見交換等

○ 家庭教育支援に関する各種事業の情報共有や意見交換

（例）・保護者の学びや育ちを応援するための講座の在り方

・支援者の人材確保や家庭教育支援チームの拡充に関する方策

・家庭教育支援チームと保健福祉部局との連携

○ 「トクわく」の活用状況やプログラム開発に関する提案

○ その他…令和７年度は、10月開催（予定）

教育事務所（家庭教育支援担当）、県子育て支援課担当者等も参加予定

令和７年度 愛顔（えがお）でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い 開催要項

【趣旨】

変化が激しく予測が困難な時代にあっても、自らの発想と力で未来を切り開くたくましい子どもたちを育成するためには、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちを育む体制づくりに取り組むことが一層重要になっている。そこで、愛媛県教育委員会においては、社会総がかりによる教育の具現化に向け、各種施策に取り組んでいるところである。その具現化の一つとして、県内の幼稚園から高等学校までの保護者、教職員等及び行政機関の教育関係者並びに社会教育関係団体に加え、福祉関係者、警察、企業、ＮＰＯ法人等の関係者等が一堂に会し、子どもたちに関わる大人の一人として、子どもたちの連続した育ちという視点を踏まえ、現状と課題、方向性、具体策、展望等について研修や情報交換を行うことで、「社会総がかりの教育の推進」の実現に寄与し、未来を担う子どもたちの豊かな教育環境づくりに資する。

１　主　　題　「社会総がかりで、愛媛の子どもたちを健やかに育てよう」

２　主　　催　愛媛県教育委員会

３　共　　催　愛媛県幼稚園小中学校高等学校ＰＴＡ連合会連絡協議会
（愛媛県国公立幼稚園・こども園ＰＴＡ連合会
愛媛県ＰＴＡ連合会
愛媛県高等学校ＰＴＡ連合会
愛媛県私立中学高等学校保護者会連合会）

４　後　　援（予定）　愛媛県市町教育委員会連合会、「えひめ教育の日」推進会議、
公益財団法人愛媛県教育会、愛媛県国公立幼稚園・こども園ＰＴＡ連合会、
愛媛県ＰＴＡ連合会、愛媛県高等学校ＰＴＡ連合会、
愛媛県私立中学高等学校保護者会連合会、愛媛県小中学校長会、
愛媛県高等学校長協会、愛媛県社会教育委員連絡協議会、
愛媛県国公立幼稚園・こども園教育研究協議会、愛媛県教育研究協議会、
愛媛県高等学校教育研究会、愛媛県愛護班連絡協議会、
愛媛県公民館連合会、愛媛県連合婦人会

５　日　　時　令和７年８月７日（木）12:30～16:30

６　場　　所　愛媛県生涯学習センター及びえひめ青少年ふれあいセンター

７　参 加 者　ＰＴＡ会員、保育士、幼・小・中・高・特別支援学校教職員、市町教育委員会職員、「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」に係るスタッフ、地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、社会教育士、社会教育関係団体会員、学校教育関係団体関係者、福祉関係者、警察関係者、企業関係者、ＮＰＯ法人関係者、学生　等　　350～400 名

８　日　程

12:00～12:30　　受　　付〔30 分間〕

12:30～12:45　　開会行事（場所：県民小劇場）〔15 分間〕
　主催者挨拶　愛媛県教育委員会教育長
　問 題 提 起　愛媛県幼稚園小中学校高等学校ＰＴＡ連合会連絡協議会

12:45～14:05　　講演(場所：県民小劇場）〔80 分間〕

講　師：今井　悠介

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン　代表理事

14:25～16:25　　分科会・模擬出前授業〔120 分間〕

分科会	テ　ー　マ
第１分科会	**【地域学校協働活動】** 幅広い地域住民の参画により、学校と地域が連携して子どもたちを育てる体制づくりをどのように進めるか
第２分科会	**【子どもの居場所づくり】** 全ての子ども・若者が安心して過ごせる地域の居場所づくりをどのように進めるか
第３分科会	**【子育て・家庭教育支援】** 保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか
第４分科会	**【地域教育の担い手づくり】** 子どもと地域をつなぎ、地域の学びを豊かにする人材の育成をどのように進めるか
出前授業	**【えひめ学校・地域教育サポーターの活用】** えひめ学校・地域教育サポーターを活用して、子どもたちの豊かな学びや体験活動の充実を図ろう

16:25～16:30　　閉会行事（場所：各分科会会場）

いま、地域の学びと実践をコーディネートする
社会教育士の活躍が期待されています！

社会教育主事講習を受講しませんか？

だれもがスキルアップしたい**3つの能力**が身に付きます！

❶ファシリテーション能力 人のやる気に火をつけ、意識・行動の変化を促す！
❷プレゼンテーション能力 地域で共有したい想いや情報をより分かりやすく伝える！
❸コーディネート能力 信頼し合い、支え合う関係づくりをコーディネート！

●社会教育士とは…

社会教育士とは「社会教育の専門的知識を有していることを表す称号」のことです。

地域を面白くしたい、新たな人ともっと出会いたい、多様な人ともっとつながりながら活動したい、という前向きな気持ちになれるきっかけ…これらのきっかけにあたる取組を、人々の自由で自発的な学習活動を支援する社会教育という分野では、「学び」と呼んでいます。**こうした「学び」を社会のいたるところにたくさん仕掛け、豊かな地域づくりへの展開を支援する専門人材が、「社会教育士」です。**

●社会教育士の役割と期待されることは…

社会教育士には、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる次のような役割が期待されています。

◇学校・家庭・地域が連携した教育活動や、地域づくり、福祉、環境等の様々な分野での地域活動、ボランティア活動等において、専門的知識や能力を活かして活躍する。
◇行政や企業等での職員の人材育成や、学びを通じた人づくり・つながりづくり、地域課題の解決等の担当者として活躍する。
◇「社会教育士」としての共通の知識やネットワークにより、分野を越えたセクションでの連携・協働を促進するために活躍する。

●社会教育士の資格を取得するためには…

社会教育主事講習を受講する方法と、大学での養成課程で必要な単位を修得する方法があります。
◇愛媛県在住の方が受講しやすい社会教育主事講習は、次の３つがあります。

社会教育主事講習［A］
予定
［時期］７月11日～８月28日
［会場］社会教育実践研究センター（東京都）
●通常コース
●オンラインコース

社会教育主事講習［B］
予定
［時期］１月16日～２月20日
［会場］主会場：社会教育実践研究センター（東京都）、愛媛会場：県生涯学習センター他
●オンライン+集合

四国地区社会教育主事講習
予定
［時期］７月～８月
［会場］国立大学法人高知大学
●オンライン+集合
※四国４県の大学で持ち回りにて実施

その他、近年では島根大学や福井大学等の講習を受講している方も増えています。
※オンラインやオンデマンドを活用して、自宅や職場で受講することができます。

社会教育士として学校や地域で活躍しましょう！

社会教育士

●問合せ先●
愛媛県教育委員会事務局 社会教育課社会教育グループ
Tel：089-912-2933　Mail：shakaikyo@pref.ehime.lg.jp
URL　https://www.pref.ehime.jp/page/39524.html

社会教育士について詳しく知りたい方は、文部科学省社会教育士特設サイトをご覧ください。→

特設サイト

愛媛の社会教育の推進

社会教育活動の中核を担う社会教育人材の育成

背景
- 社会情勢の大きな変化
- 社会教育の裾野の広がり
- 社会教育の担い手の多様化
- 社会教育人材への期待

現状
●社会情勢が大きく様変わりする中、多様な分野での社会教育との連携の重要性が増大
●社会教育行政の中核を担う社会教育主事及び各分野の専門的な知見を生かし活躍する社会教育士等の社会教育人材が果たす役割は大きい

課題
●社会教育主事・社会教育士等の社会教育人材の資質向上と活躍促進

●より効果的で継続的な学習の場の提供とネットワークの構築

社会教育研修

社会教育主事講習
- 目的：職員の社会教育主事任用資格の取得、社会教育主事の配置促進

市町生涯学習・社会教育関係職員等研修会
- 目的：地域づくりを支える専門的職員の育成
- 内容（年１回）：生涯学習・社会教育の基礎研修、先輩を囲んで

県社会教育主事等研修会
- 目的：より高い専門性を持った人材の育成とネットワークの構築
- 内容（年３回）：国の動向・研究事例等による講義、現地演習、ワークショップ等

市町教育委員会生涯学習・社会教育関係職員等研修会

令和７年６月下旬予定＜会場：県生涯学習センター＞【参加者30名程度】

生涯学習・社会教育に関する基礎的・基本的な知識・技能の習得
効果的な事業を実施するための企画力の育成

［参考　Ｒ６実施］
令和６年10月４日（金）＜会場：県生涯学習センター＞【参加者32名】
○　講義：「社会教育の置かれている状況から取組の方向性と視点を検討する」
　　講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター　教授　岡田　正彦　氏
○　情報交換：「先輩を囲んで」
　　先輩職員：市町教育委員会　生涯学習・社会教育主管課職員
○　演習：「今担当している事業の課題検討から次の一手を展望する」　講師　岡田　正彦　氏

R6の様子

県社会教育主事等研修会［社会教育士フォローアップ研修］

令和７年７月上旬、中旬、11月中旬の全３回を予定（オンライン１回、現地演習２回を予定）
〈会場：中予地区〉【参加者20～40名程度】

生涯学習・社会教育関係者の資質能力の向上　*社会教育士の継続的な学習機会の確保とネットワーク構築*

［参考　Ｒ６実施］
令和７年１月21日（火）〈会場：松山市男女共同参画推進センター(コムズ)【参加者63名】
○　講義・ワークショップ：
「社会教育は会話教育！等話（とうわ）で立場を超えたつながりづくり、
人も地域も生き生きと！」
講師：　尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類　教授　松田　道雄　氏

R6の様子

社会教育主事講習

［講習Ｂ］令和８年１月16日～２月20日予定〈主会場：社会教育実践研究センター〉【受講者30名程度】
＜講義：自宅、職場等にてオンライン受講　演習：県生涯学習センター、県総合教育センター＞

地域の学習課題を把握する能力や企画立案能力　組織化・援助の能力、調整者としての能力
地域住民の自主的・自発的な学習を促進・援助する専門性

［参考　Ｒ６実施］
〈愛媛大学〉令和６年７月16日～８月23日【県内受講者27名】
〈講習Ｂ〉　令和７年１月14日～２月20日【県内受講者23名】
＜講義：自宅、職場等にてオンライン受講＞
＜演習：愛媛県生涯学習センター、愛媛県総合教育センター＞

R6の様子

令和7年度　地域教育プロデューサー配置支援事業

1　本事業のねらい

「地域課題の解決」を目指す**学校**と**地域**の橋渡し役・つなぎ役として、市町が「学校を核とした地域づくり」「教育の魅力化による地方創生」「地域への愛着心の育成」を推進するために配置する「地域教育プロデューサー」等を県が登録・サポートすることで取組の促進を図る。

2　「地域教育プロデューサー配置支援事業」とは

「地域教育プロデューサー」とは、学校と地域の橋渡し役・つなぎ役として地域の教育課題に取り組む教育に特化した地域おこし協力隊（OB・OG を含む。）であり、各市町が「地域教育プロデューサー」として配置している方のことです。また、「地域教育協力隊」とは、主となるミッションに関わらず、教育に興味・関心があり、地域教育に関わっている地域おこし協力隊（OB・OG を含む。）であり、各市町が「地域教育協力隊」として配置している方のことです。

3　「地域教育プロデューサー」等の役割・業務内容

各市町、各地域に配置される地域教育プロデューサー等は、地域の教育課題に応じた業務にあたることから、業務内容は一律ではなく、多様である。

（例）

- 学校と地域社会（地域住民、行政、企業、NPO　等）との協働体制づくり
- 社会に開かれたカリキュラムづくり
- 地域社会での学習環境・学習機会づくり
- 多様性のある教育環境と地域への人の流入の創出
- 社会関係資本を活用した魅力ある教育環境づくり

4　本事業の効果

- 地域学校協働活動推進員として、地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業への協力
- 地域の教育力の向上及び教育に関連した地域活性化
- 小・中学校の総合学習及び高校の探究学習の支援・伴走
- 高校魅力化の支援及び推進
- それぞれの能力を生かした特色ある教育
- 地域人材や地元企業等との連絡・調整による教職員の業務軽減

5　本事業の現状と課題

(1)　現状

- 令和７年４月１日時点で延べ９市町 29 名の地域教育プロデューサー及び地域教育協力隊が配置され、公営塾の運営や学校・地域と連携して高校の魅力化支援等に取り組んでいる。

(2)　課題

- 地域教育プロデューサー等同士及び市町担当者等とのネットワーク強化
- 地域での活動の継続
- 役職・身分の保障
- 生業づくり
- 優良事例の周知による外部へのアピール強化
- 市町・学校等へのＰＲ強化

6　本事業の方策と取組

(1)　方策

○　交流の場の設定（地域教育プロデューサー等同士及び市町担当者等、学校・地域等）
○　申請・登録の継続
○　関係団体等との連携
○　優良事例等の発表の場の設定
○　ＨＰ等での広報活動

(2)　取組

○　情報交換会
・　情報交換等の場を設定することにより、活動が円滑に進むよう支援を図る。(オンラインにて実施)
・　当課事業の各研修会後に実施し、交流を図る。

○　登録証、証明証の発行
・　市町・市町教委からの申請により、新規登録者の登録証、証明証の発行及び任期終了者の再登録作業を行う。

○　地域教育プロデューサー等事例紹介
・　「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」の分科会において、地域教育プロデューサー等の事例発表を行い、地域教育プロデューサー等及び参加者とのネットワーク形成を図る。
・　地域教育実践交流集会での事例発表者を推薦し、参加者に地域教育プロデューサー等の活動の周知及び交流を図る。

○　ＨＰ等による広報活動
・　県ＨＰに最新の配置状況を掲載する。

○　県地域政策課、えひめ暮らしネットワークとの連携
・　情報提供及び情報交換を行う。

○　高校教育課との連携
・　えひめスーパーハイスクールコンソーシアムでの地域の有識者として推薦を行うなど、コンソーシアムとの関わりを深める。

7　配置状況

(R7.4.1時点) 地域教育プロデューサー８市町19名、地域教育協力隊２市町２名
地域おこし協力隊（元：11名、現役：10名）

①　地域教育プロデューサー

市町名	氏名	隊員歴	登録期間	活動内容
上島町	中山　なぎ	元	R9.3.31まで	・愛媛県立弓削高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・上島町公営塾の運営、学校・地域連携
	河村　俊秀	現	R9.1.31まで	・愛媛県立弓削高等学校の魅力化の支援、推進 ・弓削高校魅力化コーディネート業務 ・弓削高校と小中学校・地域の連携支援、推進
	雫石 まどか	元	R9.3.31まで	・愛媛県立弓削高等学校の魅力化の支援 ・学校・地域の連携推進
	井上　　武	現	R7.6.30まで	・愛媛県立弓削高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・上島町公営塾の運営、学校・地域連携
	大下　凪歩	現	R9.3.31まで	・愛媛県立弓削高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・上島町公営塾の運営、学校・地域連携
	辻村　大樹	現	R9.3.31まで	・愛媛県立弓削高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・上島町公営塾の運営、学校・地域連携
	中裏　修平	元	R10.3.31まで	・愛媛県立弓削高等学校の候濃い魅力化の支援、推進 ・上島町公営塾の運営支援、学校・地域連携
伊予市	本多　正彦	元	R10.3.31まで	・双海町翠地区ほたる保存会事務局長（環境教育） ・地域教育実践ネットワークえひめ実行委員 ・一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事

東温市	藤岡　慶太	元	R8.3.31 まで	・学校・家庭・地域連携推進事業支援 ・多世代交流拠点施設管理・運営 ・総合型地域スポーツクラブ管理・運営 ・一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事
久万高原町	山路　稜子	元	R10.3.8 まで	・地域の自然や文化を取り入れた総合学習や探究活動の支援 ・教員のための課外学習支援、伴走
内子町	小田原 希実	元	R9.3.31 まで	・愛媛県立内子高等学校小田分校の教育魅力化推進
西予市	長岡　湧太	元	R9.3.31 まで	・学校、地域の連携推進
	島田　雄飛	元	R7.7.31 まで	・市内高校の魅力化 ・学校、地域の連携推進
	池ヶ谷 実希	現	R8.5.31 まで	・市内高校の魅力化 ・学校、地域の連携推進
	増田　崇人	現	R9.2.28 まで	・市内高校の魅力化 ・学校、地域の連携推進
鬼北町	浅越　　聖光	現	R8.3.31 まで	・公営塾運営（教科指導・広報活動） ・北宇和高等学校教育サポート
	森實　慧	現	R8.3.31 まで	・愛媛県立北宇和高等学校の高校魅力化の支援、推進 ・北宇和高校魅力化コーディネート業務 ・北宇和高校教育寮のハウスマスター
	中井　千尋	現	R8.3.31 まで	・北宇和高等学校の高校魅力化事業に関すること ・北宇和高校教育寮ハウスマスター
松野町	川嶋　健佑	元	R10.3.21 まで	・俳句を通じた地域理解への取り組み及び国語教育

② 地域教育協力隊

市町名	氏名	隊員歴	登録期間	活動内容
松山市	髙橋　伸一	現	R8.3.31 まで	・小学校教諭の経験を生かした学校行事等への協力 ・授業支援（音楽・図工・総合・特活等） ・「主体的・対話的で深い学び」への提案・助言
内子町	武田　惇奨	元	R9.3.31 まで	・内子町 ICT 教育支援全般

※　参考　登録延べ人数　地域教育プロデューサー19 名、地域教育協力隊２名

「小・中学生のふるさと学習作品展」事業について

【事業の趣旨】

小・中学生が愛媛ゆかりの偉人について理解を深め、郷土に対する誇りと愛情を育む学社融合を促進するとともに、学校での「教科」や「総合的な学習の時間」等の学習成果を深めるため、子どもたちが愛媛の偉人を題材にして調査・研究に取り組むことを支援する。

【事業の概要】

１　募集期間　　令和７年９月１日(月)～９月 16 日(火)

２　表　　彰　　レポート・壁新聞の２部門において愛媛県知事賞他１２賞を授与

３　作品展示　　愛媛人物博物館、生涯学習“夢”まつり、巡回展(東･中･南予)

４　応募状況の推移

年度	応募総数	応募内訳		応募校数
		レポート	壁新聞	
令和 ６ 年度	１６２	８１	８１	３８校
令和 ５ 年度	２２９	１３７	９２	４９校
令和 ４ 年度	２２７	１２５	１０２	４７校
令和 ３ 年度	２１６	１０７	１０９	４２校
令和 ２ 年度	１５９	８１	７８	３８校

※応募総数…愛媛県生涯学習センターに送付された作品数

５　事業の周知及び支援方法

(1) 各市町教育委員会に本事業の趣旨や成果等を伝え、各学校への周知を依頼する。

(2) 各教育事務所別の校長会等で依頼していただく。

(3) 指定管理者が発行するイベントガイドやＨＰにて広報活動を行う。

(4) 夏季休業中に児童生徒への支援として「お助け見学会」を開催する。

令和７年度「小・中学生のふるさと学習作品展」事業 実施要項（案）

１　目　　的

私たちのくらしや社会の発展に貢献してきた人物や現在活躍している人物で、愛媛にゆかりの深い人物について、県内小・中学生が夏季休業中等を利用して自主的な調査・研究を行うことにより、学校での「教科」や「総合的な学習の時間」等の学習成果をさらに深化させる。

特に、小・中学生が郷土の人物を題材にして、近隣の人々や文化遺産、社会教育施設等の地域の教育資源や学習の機会を活用した自主的な調査・研究に取り組むことによって、これからの社会を生きる子どもたちの自ら課題を発見し解決する力やコミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力等を養うとともに、郷土への誇りと愛情をはぐくむことを目的とする。

２　主　　催　　愛媛県教育委員会

３　共　　催　　株式会社レスパスコーポレーション
（愛媛県生涯学習センター指定管理者）

４　後　　援

愛媛県市長会・愛媛県町村会・愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛県文化協会・愛媛県図書館協会・公益財団法人愛媛県教育会・愛媛県教育研究協議会・愛媛県小中学校長会・愛媛県特別支援学校長会･愛媛県私立中学高等学校連合会・愛媛県ＰＴＡ連合会・愛媛新聞社・ＮＨＫ松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・ＦＭ愛媛・四国中央テレビ・ハートネットワーク・上島町ＣＡＴＶ・今治ＣＡＴＶ・ＦＭラヂオバリバリ・愛媛ＣＡＴＶ・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西ＣＡＴＶ･西予ＣＡＴＶ・宇和島ケーブルテレビ

５　作品募集

(1)　小・中学生が夏季休業中等に行った、愛媛にゆかりの深い人物に関する自由な調査・研究について作品を募集し、表彰を行う。

(2)　対象者

・県内の小・中学校及び中等教育学校、特別支援学校の該当学年とする。

・個人の調査・研究とする。

(3)　規　格

・レポート部門（規格：Ａ３用紙まで・画用紙は四つ切りまで・枚数の制限なし）

・壁新聞部門（規格：とりのこ用紙２枚以内・画用紙は壁新聞の対象外）

(4)　留意事項

・私たちのくらしや社会の発展に貢献した人物や現在活躍している人物で、愛媛にゆかりのある人を調査・研究したものとする。なお、対象人物については、過去の偉人・賢人ばかりでなく、現在、身近なところで地域のために貢献している人物も含む。

・インターネットからプリントアウトした物を貼り付けただけの作品は除く。

(5)　応募期間　　令和７年９月１日(月)～同月 16 日(火)

(6)　応 募 先　　〒791-1136　松山市上野町甲650番地　県生涯学習センター

６　特別賞等作品審査会

(1)　期　　日　　令和７年 10 月 10 日(金)
(2)　場　　所　　愛媛県生涯学習センター
(3)　特 別 賞
愛媛県知事賞・愛媛県議会議長賞・愛媛県教育委員会教育長賞･愛媛県市長会長賞・愛媛県町村会長賞・愛媛県文化協会長賞・愛媛県図書館協会長賞・公益財団法人愛媛県教育会理事長賞・愛媛県教育研究協議会会長賞・愛媛県小中学校長会長賞・愛媛県ＰＴＡ連合会長賞・愛媛新聞社社長賞・愛媛県生涯学習センター所長賞
(4)　備　　考
特別賞選定後、優秀賞、努力賞を選定する。

７　特別賞受賞作品表彰式

(1)　期　　日　　令和７年 11 月１日(土)
(2)　場　　所　　愛媛県生涯学習センター

８　作品展示

(1)　愛媛県生涯学習センターでの展示〈特別賞・優秀賞受賞作品展示〉
令和７年 11 月１日(土)～同月 21 日(金)
(2)　えひめ生涯学習“夢”まつり〈特別賞受賞作品展示〉
令和７年 11 月 29 日(土)～同月 30 日(日)
(3)　巡回展〈特別賞・各地区優秀賞受賞作品展示〉
東予：愛媛県総合科学博物館
〒792-0060　新居浜市大生院2133－2 TEL:0897-40-4100(代表)
〈特別賞受賞作品及び東予地区優秀賞受賞作品展示〉
令和７年 12 月 17 日(水)～同月 23 日(火)
中予：フジグラン松山
〒790-8576　松山市宮西一丁目２番１号 TEL:089-922-8111(代表)
〈特別賞受賞作品及び中予地区優秀賞受賞作品展示〉
令和８年１月９日(金)～同月 11 日(日)
南予：愛媛県歴史文化博物館
〒797-8511　西予市宇和町卯之町４-11-２TEL:0894-62-6222(代表)
〈特別賞受賞作品及び南予地区優秀賞受賞作品展示〉
令和８年１月 21 日(水)～同年２月８日(日)
(4)入賞作品に関して、ホームページおよび県広報媒体等にて広く県民に発信する。

９　その他

・　夏季休業中に、愛媛県生涯学習センター「愛媛人物博物館」にて、研究テーマの選定や研究方法についての『お助け見学会』を実施する。

【問合せ先】
愛媛県教育委員会事務局社会教育課
〒790-8570
松山市一番町四丁目４番地２
TEL:089-912-2933･FAX:089-912-2929
E-mail:shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

えひめ学校・地域教育サポーター　登録企業・団体一覧

令和7年3月13日現在

★がついている企業・団体は、学校教育だけでなく、放課後子ども教室や公民館活動等の地域における教育活動についても御支援いただける企業・団体です。

No	企業・団体等名
1	有限会社 あさひ〔デイサービスセンターあさひ〕★
2	朝日共販㈱
3	株式会社 伊予銀行★
4	株式会社 伊予鉄高島屋
5	うま農業協同組合★
6	株式会社 ＳＳＰ
7	ＳＭＢＣコンシューマーファイナンス株式会社★
9	株式会社 愛媛銀行★
10	愛媛県 県民環境部 防災危機管理課★
11	愛媛県 県民環境部 消防防災安全課★
12	愛媛県 今治保健所★
13	公益財団法人 愛媛県学校給食会
15	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課（生涯学習センター駐在）★
16	愛媛県教育委員会 文化財保護課★
17	社会福祉法人 愛媛県共同募金会
18	愛媛県警察本部 交通部 交通企画課★
19	愛媛県警察本部 生活安全部 少年課★
20	愛媛県警察本部 総務室 広報県民課★
21	愛媛県県民環境部 環境政策課★
22	愛媛県県民環境部 自然保護課★
23	愛媛県公営企業管理局 松山発電工水管理事務所★
24	愛媛県 西条保健所★
25	愛媛県在宅介護研修センター★
26	愛媛県 栽培資源研究所★
27	愛媛県 産業技術研究所 紙産業技術センター★
28	愛媛県 産業技術研究所 技術開発部
29	愛媛県 産業技術研究所 食品産業技術センター
30	愛媛県 産業技術研究所 繊維産業技術センター★
31	愛媛県 産業技術研究所 窯業技術センター★
32	愛媛県 資源循環優良事業者 連絡協議会★
33	愛媛県 四国中央保健所★
34	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会★
36	愛媛県視聴覚福祉センター★
37	愛媛県身体障がい者福祉センター★
38	道後　ゆう★
39	えひめ障がい者就業・生活支援センター
40	しげの心清愛園★
41	しげの心清流園★
42	どうご清友寮
43	福祉工房いだい清風園
44	ほほえみ工房ばれっと道後★
45	愛媛県消費生活センター★
46	愛媛県職業能力開発協会★
47	愛媛県人権啓発センター★
48	愛媛県水産研究センター★
49	愛媛県総合科学博物館★
50	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課★
52	愛媛県 中予地方局 総務企画部 総務県民課★
53	愛媛県 中予保健所 企画課
54	愛媛県 中予保健所 生活衛生課
55	愛媛県動物愛護センター★
56	愛媛県 東予地方局 地域政策課
57	愛媛県 東予地方局 農村整備課
58	愛媛県 土木部 河川課★
59	愛媛県 土木部 港湾海岸課
60	愛媛県 土木部 砂防課★
61	愛媛県土木部 道路建設課
62	愛媛県土木部 道路維持課
63	愛媛県 保健福祉部 薬務衛生課★
65	愛媛県立医療技術大学
66	愛媛県立新居浜病院★
67	愛媛県立南宇和病院
68	愛媛県歴史文化博物館★
69	株式会社愛媛CATV★
70	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構
71	愛媛信用金庫★
72	愛媛労働局
73	株式会社 大亀製作所★
74	株式会社 オズメッセ
75	協和道路株式会社★
76	NPO法人 禁煙推進の会えひめ★
77	株式会社 クリエイト伊方
79	株式会社 コスにじゅういち★
80	特定非営利活動法人 さなえ★
81	四国ガス株式会社★
82	四国通建株式会社
83	四国電力株式会社 愛媛支店
84	ジブラルタ生命保険（株）★
85	新日本建設 株式会社★
86	株式会社新風会フィットネスクラブRyuow★
87	株式会社　誠実村★
88	公益財団法人 生命保険文化センター★
89	全日本空輸株式会社／ＡＮＡあきんど株式会社★
90	DCM株式会社★
91	竹中金網株式会社　テクノなみかた工場
92	株式会社ダスキンプロダクト中四国　愛媛工場
93	NPO法人『Do』
95	（株）日本交通社★
96	日本赤十字社愛媛県支部★
97	伯方塩業株式会社★
98	株式会社 ブルーム・クラシック　愛媛テクノ工場
99	弁護士法人伊予★
100	マエダ商事　株式会社
101	松山税務署
103	リージョナルデザイン株式会社★
104	愛媛県南予地方局 総務県民課★
105	宇和島保健所 健康増進課★
106	宇和島保健所 生活衛生課★
107	宇和島保健所 環境保全課
108	宇和島保健所 企画課★
110	八幡浜保健所
111	愛媛県美術館★
112	愛媛県隣保館連絡協議会★
113	富士電機株式会社 松山営業所
114	愛媛職業能力開発促進支援センター
115	河原電子ビジネス専門学校★
116	河原医療福祉専門学校★
117	河原デザイン・アート専門学校
118	河原アイペットワールド専門学校
119	学校法人河原学園　河原医療大学校　新居浜校★
120	学校法人河原学園　河原外語観光・製菓専門学校★
121	河原ビューティモード専門学校★
122	学校法人河原学園 河原医療大学校★
123	アビリティーセンター株式会社
124	今治造船株式会社
125	株式会社 内子フレッシュパークからり
126	ＪＲホテルクレメント宇和島
128	NTT西日本愛媛支店
129	公益社団法人　愛媛県看護協会★
130	愛媛県金融広報委員会★
132	川之江造機株式会社★
133	楠橋紋織株式会社
134	クリーンメカニカル株式会社
135	四国乳業株式会社
136	西南開発（株）
137	セキ株式会社
138	一般財団法人積善会　十全総合病院
139	株式会社　曽我部鐵工所
140	株式会社ダイキアクシス★
141	株式会社　千葉工務店
142	子育て安心住宅・設計室 西川建設株式会社★
143	ＮＰＯ法人 ＮＥＸＴ CONEXION★
144	波止浜興産株式会社★
145	八水蒲鉾株式会社
146	花育・花活プロジェクトえひめ★
147	尾藤建設株式会社★
148	丸福運送（株）
149	ヤマキ株式会社
150	株式会社 ユタカ★
151	株式会社 レデイ薬局
152	株式会社ハラプレックス★
153	愛媛県生涯学習センター★
154	風とつばさ社労士事務所
155	株式会社　マツダ★
157	愛媛トヨタ自動車株式会社★
158	株式会社スイッチカンパニー★
159	有限会社バイクハウス阿部★
160	株式会社　PENTA　FARM★
161	愛媛県農林水産研究所
162	愛媛県養鶏研究所
163	大原簿記公務員専門学校　愛媛校★
164	城北運送株式会社★
165	公益財団法人　松山観光コンベンション協会
166	学校法人愛媛学園　愛媛調理製菓専門学校★
167	華彩フラワーカレッジ・ロイヤルフローリスト華彩★
168	リコージャパン株式会社　愛媛支社
169	公益財団法人　愛媛県診療放射線技師会
170	松山デザイナー専門学校
172	松山歯科衛生士専門学校
173	井関農機株式会社
174	株式会社　渡辺建設★
175	株式会社　松山機型工業
176	浅川造船株式会社
177	BEMAC株式会社
178	愛媛プレカット㈱
179	有限会社　ゆうぼく★
180	株式会社小関電工
181	南レク株式会社　日本庭園 南楽園★
182	太陽石油株式会社　四国事業所
183	月原自動車　株式会社
184	キョクヨーフーズ株式会社
185	ヤマセイ株式会社
186	有限会社　アポトライ★
187	松山空港ビル　株式会社
188	日本航空　株式会社　松山支店★
189	石田クリーニング　株式会社★
190	松山観光港ターミナル　株式会社
191	石崎汽船株式会社 松山・小倉フェリー株式会社★
192	日本ボーイスカウト愛媛県連盟★
193	四国開発フェリー株式会社★
194	有限会社　安岡蒲鉾店★
195	宇和島自動車株式会社★
196	株式会社　あわしま堂
197	双葉産業株式会社　四国工場
198	瀬戸内運輸株式会社（せとうちバス）
199	ＰＨＣ株式会社
200	一般社団法人　愛媛ゆめ教育協会★
201	特定非営利活動法人　まもる★
202	まつやまNPOサポートセンター★
203	一広株式会社
204	シンワ株式会社
205	株式会社ジョージ★
206	愛媛県企画振興部　総合政策課
207	江南ラミネート株式会社★
208	愛媛晋公学生服株式会社★
209	愛媛県産業技術研究所　企画管理部
210	愛媛県選挙管理委員会事務局★
211	ミサワホーム四国株式会社★
212	株式会社日本エイジェント【お部屋さがし物語】★
213	佐川印刷株式会社
214	トヨタL&F西四国株式会社★
215	コスモ松山石油株式会社★
216	株式会社ANAエアサービス松山
217	株式会社日昇
218	公益財団法人 日本漢字能力検定協会★
219	大進建設株式会社
220	スリーラインズ株式会社
221	株式会社　住工房たかせ★
222	株式会社マルウ水産★
223	株式会社エヒメスポーツエンターテイメント★
224	医療法人みかわクリニック★
225	一般社団法人WONDER EDUCATION★
226	野村證券株式会社　松山支店
227	株式会社愛媛FC★
228	三木特種製紙株式会社
229	株式会社かどや★
230	ジャスティン株式会社★
231	株式会社S.T.M★
232	金融リテラシー向上コンソーシアム★
233	一般社団法人坊っちゃん劇場
234	四国竹林塗装工業株式会社★
235	正起ガス株式会社
236	西染工株式会社★
237	株式会社大石工作所★
238	損害保険ジャパン株式会社　愛媛支店★
239	独立行政法人　住宅金融支援機構　四国支店★
240	仙味エキス株式会社

※愛媛県教育委員会のホームページには226の企業・団体等をデーターベース化して掲載中！（欠番8、14、35、51、64、78、94、102、109、127、131、156、171）
アドレス（https://ehime-c.esnet.ed.jp/shougai/gakusapo2/gakusapotop/gakusapotop.html）にアクセス、または検索して、企業・団体等の専門性を子どもたちの学びに結びつけてください。

【問合せ先】
〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県教育委員会事務局 社会教育課 社会教育グループ　電話：089-912-2933　E-mail：shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

学校関係者のみなさま!!

学校・地域の教育活動に活用すれば便利です！

えひめ学校・地域教育サポーター

愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」

―「愛媛県社会総がかりの学校教育支援推進事業」―

こんな悩み、ありませんか？

体験学習をしたいけれど、対応してもらえる企業や団体はないかな？

○○について子どもに教えたいけれど、教材準備に労力がかかるし、専門知識に不安がある。

そんな悩みを解決する企業・団体が、えひめ学校・地域教育サポーターです！

サポーター企業・団体が支援できること

※その他学習支援、資料・教材提供等様々な支援があります。

サポーター利用の流れ

Selection
サポーター選定

えひめ学校・地域教育サポーターのHPから、教育支援を受けたいサポーターを選定

Contact
企業・団体に連絡

サポーターに連絡し、支援内容・日程等の相談・調整

Action
活動実施

サポーターの支援を受けて、教育活動を実施

Report
実施報告

フォームから実施報告

回答専用フォーム

登録いただいた県内外多くの企業・団体等をデーターベースにして公表しています。

スマホから

QRから県社会教育課のホームページにアクセス！

パソコンから

えひめ学校・地域教育サポーター　で検索！

問合せ先
〒790-8570　松山市一番町4丁目4番地2　愛媛県教育委員会　社会教育課社会教育グループ
電話（直通）089-912-2933　E-mail　shakaikyo@pref.ehime.lg.jp

令和７年度協働で支えるヤングボランティア推進事業の概要

１　趣旨

社会的奉仕体験活動や自然体験活動を通じた青少年の健全育成を行うため、高校や地域でボランティア活動を実施しているＮＰＯ法人やボランティアセンター等とネットワークを構築し、高校生等の自主的なボランティア活動を支援する。

≪経緯≫

平成19年度より「ヤングボランティア支援事業」として、県美術館南館に設置したヤングボランティアセンター(以下、「ヤンボラセンター」と言う。)を核として事業開始。

平成22年度から、事業名称を「協働で支えるヤングボランティア推進事業」と改称し、関係団体等とのネットワーク化をさらに強化し、既存事業の継続化を図るとともに、より強固な支援体制を構築。

令和６年度からは、ヤンボラセンター設置場所を愛媛県男女共同参画センターへ移し、同センター等との連携により、活動内容の拡充を図っている。

２　事業の概要

（１）ヤングボランティア運営事業

高校生等のボランティアスタッフが自主的に事業を実施するための支援拠点（ヤンボラセンター）の設置運営。（設置場所：愛媛県男女共同参画センター）

（２）ヤンボラスタッフの交流・実践の推進

高校生同士、地域の団体と高校生の交流活動を通して、情報・知識・技能を身に付け、地域活動参加への意欲を高めるために、児童館等でのふれあい協働活動をもとにした研修会・実践や男女共同参画センターとの協働事業を実施する。

【実施場所及び回数：各地域児童館等、年間15回程度】

（３）ヤンボラネットワーク事業の実施

①　高校生ボランティアネットワークの推進

○　地域や民間団体等で実施している高校生のニーズに対応したボランティア活動の情報を高校生等に提供する。

○　実践活動として、主に次のような活動を行う。

・　読み聞かせボランティア・愛媛ＦＣ「柑太パーク」ボランティアなど

②　モデル事業の実施

○　高校生等が身近な地域に貢献できる事業を実施し、ホームページの掲載や広報紙によって、事業内容を高校や地域に示す。

○　事業に参加する高校生等に対して、その基礎的な知識・技能・マナーなどの修得を図る講座を実施する。

（４）ヤンボラ支援スタッフの活動に係る経費

高校生等のボランティア活動を現地でサポートするスタッフ１名の旅費

ヤングボランティア支援事業（H19～H21）

専門的な支援

高校との確かな連携

活動の継続と情報の共有

活動内容の充実･広範化

協働で支えるヤングボランティア推進事業（H22～）

NPO 法人 えひめ子どもチャレンジ支援機構

協 働

高等学校

ヤングボランティアセンター
（愛媛県男女共同参画センター）
担当者（社会教育課職員）
ヤンボラ支援スタッフ

活動への理解・協力
情報の収集・提供

支援

相談

ヤンボラスタッフ
（登録した高校生）

○ ネットワークの推進
○ モデル事業の実施

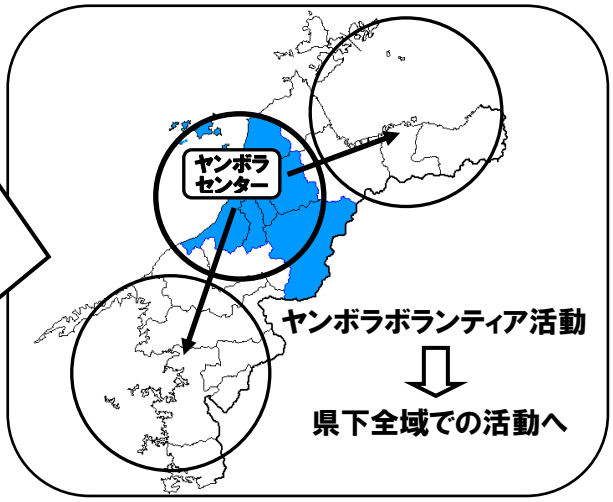
連携･協力

ヤンボラ支援グループ

- 市町ボランティアセンター
- ＮＰＯ
- 社会福祉協議会
- 社会教育関係団体

高校生が参画できる環境の整備

○ ネットワーク化
○ 地域により密着した活動の展開
○ 高校生同士、地域の団体と高校生の交流 等



ヤンボラボランティア活動

県下全域での活動へ

○スタッフ登録数･学校数の増加
○モデル事業の開発（福音公園づくりボランティア）
○東予地区、南予地区への活動の広がり
○児童館ふれあい協働活動の実施

令和6年度ヤングボランティアスタッフ登録状況

令和7年3月

	番号	校　　名	R6登録数	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
東予	1	川之江高校	0	2	0	0	0
	2	三島高校	0	0	0	0	8
	3	新居浜東高校	49	0	13	2	0
	4	新居浜西高校	2	0	0	0	0
	4	新居浜南高校	0	0	0	3	0
	5	新居浜工業高校	4	0	0	0	3
	6	西条高校	39	87	53	8	20
	7	西条農業高校	0	0	0	0	6
	8	小松高校	0	0	0	17	0
	9	丹原高校	0	1	10	2	4
	10	今治西高校	4	0	5	0	0
	11	今治北高校	11	68	65	80	93
	12	今治北高校大三島分校	0	0	0	0	2
	13	今治南高校	0	0	9	0	0
	14	今治東中等教育学校	0	0	1	27	0
	15	今治明徳高校	0	1	0	0	0
	16	今治明徳高校矢田分校	0	3	15	3	11
	17	今治精華高校	0	0	0	0	3
	小　計 …①		**109**	**162**	**171**	**142**	**150**

	番号	校　　名	R6登録数	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
中予	1	北条高校	0	10	0	0	3
	2	松山東高校	0	0	0	8	8
	3	松山南高校	0	0	14	8	4
	4	松山北高校	101	87	175	218	79
	5	松山中央高校	146	201	194	109	2
	6	松山商業高校	82	93	107	148	86
	7	松山工業高校	0	5	1	0	0
	8	東温高校	9	2	0	0	5
	9	上浮穴高校	1	4	6	0	0
	10	伊予農業高校	32	63	84	35	51
	11	伊予高校	88	0	2	186	162
	12	松山西中教校	156	100	62	68	49
		松山聾学校	5	0	0	0	0
	13	済美高校	13	138	25	22	20
	14	聖カタリナ学園高校	0	13	28	26	17
	15	松山東雲高校	0	4	0	30	4
	16	新田高校	1	0	1	0	0
	17	愛光高校	0	1	5	0	0
	18	松山聖陵高校	1	9	0	29	7
	19	未来高校	0	2	8	9	0
	20	済美平成中教校	8	26	17	42	26
	21	新田青雲中教校	1	0	0	0	1
	22	河原高等専修	0	0	0	2	2
	23	愛媛大学附属高校	57	64	0	83	23
	小　計 …②		**701**	**822**	**729**	**1023**	**549**

	番号	校　　名	R6登録数	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
南予	1	大洲高校	56	90	51	97	13
	2	長浜高校	0	0	0	4	6
	3	八幡浜高校	71	86	37	0	0
	4	内子小田分校	0	0	0	7	0
	5	川之石高校	2	19	0	8	0
	6	宇和島東高校	0	0	0	29	37
	7	吉田高校	0	0	0	0	1
	8	宇和島南中教校	11	7	8	24	16
	小　計 …③		**140**	**202**	**96**	**169**	**73**

	校　　名	R6登録数	R5登録数	R4登録数	R3登録数	R2登録数
その他	大学・短大・専門学校生・フリースクール	1	0	6	0	0
	小　計 …④	**1**	**0**	**6**	**0**	**0**

合　計（①+②+③+④）	**951**	**1186**	**1002**	**1334**	**772**

えひめっ子多世代交流推進事業

１　事業方針

全国学力・学習状況調査によると、地域行事に参加していると答えた愛媛県の児童・生徒の割合は、平成 26 年度は小学生 75%、中学生 62%であったが、令和５年度は、小学生 63.1%中学生 47.9%となっており、小・中学生の地域行事への参加割合が低下してきていることが分かる。様々な地域行事等が行われているが、社会情勢の変化や娯楽の多様化の影響もあり、地域行事へ参加しない子どもたちが増えており、地域における多世代交流の機会が減少している。

そこで、地域の大人と子どもが一体となった多世代交流を取り入れた協働の場を企画運営できる人材**「多世代交流推進インストラクター」**を養成し、子どもと大人が一体となった地域行事を企画・運営することで多世代交流を推進する。

２　令和７年度の取組

（１）第１回「多世代交流推進インストラクター」養成講座

①　日　程　令和７年７月８日（火）、９日（水）※予定

②　場　所　文教会館　※予定

③　参加者　公民館関係者、社会教育団体関係者、地域教育プロデューサー、愛護班関係者、元教職員等

④　講　師　ＮＰＯ法人おむすび　理事長　　大畑　伸幸　氏
　　事務局次長　岩坂　菜月　氏

⑤　内　容　・地域での取組や行事の充実に向けた先進的な事例の紹介
　　・子どもたちの郷土愛を育む行事の企画、運営に関する演習

（２）第２回「多世代交流推進インストラクター」養成講座

①　日　程　　令和８年２月中旬　※予定

②　場　所　　愛媛県生涯学習センター　※予定

③　内　容　・地域行事実施に向けた、実態調査・課題把握
　　・既存事業の見直し、新規事業の計画